

岐阜大学柳戸キャンパスで確認されたヒメザクロゴケ

2010年から岐阜県を中心に地衣類調査を続けている。岐阜県では地衣類はあまり調査が進んでいないこともあり、新種の地衣類の発見も期待されることから、高校生による課題研究のテーマとして、加茂高校や大垣東高校の理数科の生徒による研究を行ってきた。これと平行して岐阜大学でもwebサイト教材「進化する地衣類図鑑」の構築を進めている。

岐阜大学柳戸キャンパスのモチノキの幹に生育しているザクロゴケ科地衣類は、調査を始めた2010年に発見したものである。ザクロゴケ科地衣類には、フォーリーザクロゴケ、ザクロゴケ、ヒメザクロゴケの3種が知られていた。ザクロゴケ科地衣類については、成分分析が必要であり、秋田県立大学の山本研究室に標本を送り、成分分析を行っていた。その結果、岐阜大学に生育する地衣は、ヒメザクロゴケ (*Haematomma personii*) であることが確定した。



Haematomma personii (Fee) A. Massl.. 地衣体の長径は3 cm程度。
(2010年1月7日撮影)

その後の調査によって、ヒメザクロゴケは、養老町養老公園、愛知県稲沢市内でも確認されている。稲沢市内のヒメザクロゴケは岩石上生である。養老公園のヒメザクロゴケは、大垣東高校理数科2年生(当時)の日比野洋也君の調査で確認されたものである。